



## 認知症サポーター活動 全国コンテスト

# オレンジカフェに優秀賞

大館桂桜高校の生活科学科福祉コースの3年生が、認知症患者やその家族らの孤立感、不安の軽減を目指して定期的に開いている「桂桜オレンジカフェ」の活動が、認知症サポートの育成活動を行う全国キャラバン・メイト連絡協議会（東京）のコンテストで優秀賞に選ばれた。

カフェは2カ月に1回

程度のペースで、昨年9月から開いている。生徒

が市の認知症サポーター養成講座を受講し、市の認知症カフェつながる

でボランティア活動した経験などから、自分たちでもカフェの運営を始めた。

本年度は3年生7人で運営。料金は200円で誰でも参加できる。ココヒーや紅茶などの飲み物に加え、同校食物部などの生徒が手作りした菓子などを提供。毎回改善点を生徒間で共有し、認知

生徒らは10月30日に市役所を訪問し、石田健佑市長に受賞を報告。石田

さんは「当事者との関わりを通して、認知症は誰でもなり得る病気で、早い段階から知つておけば怖いものではないと気付いた。表彰をきっかけに一人でも多くの人にオレンジカフェを知つてもらいたい、認知症への理解が深まればうれしい」と話した。

店長を務める櫻庭海咲

さんは「当事者との関わりを通して、認知症は誰でもなり得る病気で、早い段階から知つておけば怖いものではないと気付いた。表彰をきっかけに一人でも多くの人にオレンジカフェを知つてもらいたい、認知症への理解が深まればうれしい」と話した。

## 桂桜高3年生が定期開催

次回のカフェは12月12日午後1時半～3時、同校オレンジルームで開催する。来年2月からは、2年生が中心となって運営を担う。（伊藤康仁）